

# 会 議 録

会議名 ( 審議会等名 )	相模原市男女共同参画審議会 ( 令和 3 年度第 1 回 )			
事務局 ( 担当課 )	人権・男女共同参画課      電話 042-769-8205 ( 直通 )			
開催日時	令和 4 年 3 月 3 1 日 ( 木 )			
開催方法	書面開催			
出席者	委員	15 人 ( 別紙のとおり )		
	その他			
	事務局			
公開の可否	可	不可	一部不可	傍聴者数
公開不可・一部不可の場合は、その理由	書面開催のため			
会議次第	1 議題 令和 3 年度版相模原市男女共同参画年次報告書(案)について			

## 審 議 経 過

(審議を書面等で行った理由)

新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐために、委員等が一堂に会する方法により会議を開催することが困難であったため、書面により委員の意見を求め、回答を得ることにより会議の開催に代えることとした。

### 1 議題

#### 令和3年度版相模原市男女共同参画年次報告書(案)について

(原田(康)委員)4ページの「各項目の見方」について、初めてこのページを見た際に何のページか分かりにくい。「各項目の見方」ではなく、「基本方針から」の順で令和2年度の実施状況を6ページ以降に7つの項目別にまとめました。その7項目(～)が何であり、どのように配置されているか基本方針を例にして説明します。」としてはいかがか。

(事務局)「各項目の見方」の下に、説明として「基本方針～について、各基本方針に基づく令和2年度の施策の実施状況を7項目(～)でまとめました。その7項目(～)が表す内容と、どのように配置されているかについて、基本方針を例に説明します。」を追加記載させていただく。また、見本は、基本方針に差し替える。

(原田(康)委員)6ページの成果指標について、年度表記方法が「R2」となっているが、「R2年度」としたほうがよい。また、全体の文字サイズが小さいため修正したほうがよい。

(事務局)年度表記及び全体の文字サイズを修正させていただく。

(中西委員)7ページの[課題と取組の方向性]について、「あらゆる分野に女性が参画していくことの重要性に関する意識啓発に取り組めます。」とあるが、意識啓発というのが誰の意識啓発なのかが明確ではなく、女性の意識啓発と受け止められると女性の責任ということに誤解される可能性も考えられるため、「社会全体の」などの言葉があればよりよいのではと思う。また、女性参画についての意識啓発だけの問題や取組ではないように思われるため、「意識啓発に取り組む」だけでなく、[取組結果の分析・評価]の末尾にあるように、「環境整備に向けて取り組む姿勢」など、環境整備面に言及した文言があればより望ましくなるのではと感じる。実際に、これまで環境整備に向けた取組もなされてきた経緯があるようにも思う。

(事務局)「あらゆる分野に女性が参画していくことの重要性に関する社会全体への意識啓発や必要な環境整備に取り組めます。」に修正させていただく。

(中西委員)10ページの[取組結果の分析・評価]について、「固定的な性別役割分担意識が根強く残っており、特に男性の意識が強いことが伺えます。」とあるが、固定的な性別役割分担意識がいわば伝統規範のようなものとして「根強く残っている」という解釈は、確かに妥当なものだと思う。ただし、それだ

けではなく、男性稼ぎ主型といわれる家族のあり方を基本とした社会制度（社会保障等）が前提の社会の中で生きていくためには、個々人の消極的な「合理的」選択としてそれを認めざるを得ず、それ以外の選択肢をとった場合に個人的に葛藤や問題を抱えざるを得ないということが、多々指摘されてきている。かつての古い考え方が残っているということに加えて、現実の実態に即した意識の解釈を含めてなされておく必要があるのではと考える。そうでないと、今後の意識啓発に向けての対応もリアリティーが薄いものになる可能性があるように思う。

（事務局）「固定的な性別役割分担意識が根強く残っており、特に男性の意識が強いことが伺えます。」の箇所について、「固定的な性別役割分担意識が根強く残っており、特に男性の意識が強いことが伺えますが、男性稼ぎ主型といわれる家族のあり方を基本とした社会制度（社会保障等）が前提の社会の中で生きていくためには、個々人の消極的な「合理的」選択として性別による役割分担を認めざるをえず、それ以外の選択肢をとった場合、個人的に葛藤や問題を抱えざるをえないことがあるという社会的課題が背景にあることも指摘されています。」に修正させていただく。

（岩永委員）48ページ、No.60「児童の安全確保のため必要と判断した場合の一時保護の実施」について、児童の一時保護の理由（「虐待」「面前DV」など）を明記してほしい。

（事務局）内訳として、育成1件、非行4件、養護444件、その他1件を追加記載させていただく。

（松岡委員）人生の初期に出会う教育こそ、一生の考えの基をつくるものであり、ここにコミットしないと、問題解決はしないと思う。例えば、初等教育時代からの性意識・役割意識に関連しているのが「制服」や「ランドセル」であるように思う。女性の制服は、未だにスカートしか選べない学校が多く、スカートかズボンを選択できたとしても、制服があることで、男の子はネクタイ、女の子はリボンといったように型にはめられてしまう。ランドセルの色も自由になってきてはいるものの、普段使いのリュックであれば男性でも赤色を選択しやすいが、ランドセルになると赤色を選択しづらくなるといった現状がある。それであれば、相模原市の独自施策として、「制服の廃止」や「ランドセルの廃止」を実施してはどうか。これにより、教育・学習の場における男女平等、格差是正に繋がるのではないか。

（事務局）教育委員会へいただいたご意見をお伝えさせていただく。

以上

相模原市男女共同参画審議会委員名簿

(五十音順)

	氏名	所属団体等	出欠
1	岩永 良子	特定非営利活動法人 かながわ女のスペースみずら	出席
2	大木 恵	相模原市自治会連合会	出席
3	神谷 静枝	相模原市民生委員児童委員協議会	出席
4	小林 政美	特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら	出席
5	竹内 祥子	相模原市退職校長会	出席
6	徳田 晃一郎	神奈川県弁護士会	出席
7	富田 保宏	神奈川県社会保険労務士会 相模原支部	出席
8	永井 暁子	日本女子大学人間社会学部社会福祉学 科 准教授	出席
9	中西 泰子	相模女子大学人間社会学部社会マネジ メント学科 准教授	出席
10	西岡 直子	相模原市医師会	出席
11	原田 征士	公募委員	出席
12	原田 康子	公募委員	出席
13	松下 龍太	相模原商工会議所	出席
14	松岡 裕	相模原市私立保育園・認定こども園 園長会	出席
15	矢野 由佳子	和泉短期大学児童福祉学科 准教授	出席

敬称略